

令和4年度 羽島市水防協議会 協議会要旨

日時	令和4年6月24日（金） 10時00分から	
場所	羽島市役所本庁舎3階301会議室	
出席者 ＜敬称略＞	<p>会長</p> <p>【委員】</p> <p>木曾川上流河川事務所木曾川第二出張所長</p> <p>木曾川上流河川事務所長良川第二出張所長</p> <p>岐阜県危機管理政策課岐阜地域防災対策監</p> <p>岐阜土木事務所施設管理課長</p> <p>岐阜羽島警察署長</p> <p>羽島市自治委員会会長</p> <p>副市長</p> <p>消防長</p> <p>消防団長</p> <p>水防団長</p> <p>羽島市防災研究会副会長</p> <p>【事務局】</p> <p>建設部長</p> <p>土木監理課長</p> <p>土木監理課課長補佐</p> <p>建設係長</p> <p>建設係主任技師</p>	<p>松井 聡</p> <p>渡辺 昭彦</p> <p>山内 扶美</p> <p>鈴木 猛久</p> <p>棚橋 典広</p> <p>田崎 新一</p> <p>小森 博昭</p> <p>石黒 恒雄</p> <p>奥田 豊</p> <p>泉 徳行</p> <p>小林 静雄</p> <p>柳町 容子</p> <p>山田 昇</p> <p>鈴木 巨祥</p> <p>小川 博</p> <p>小川 将弘</p> <p>浅野 俊之</p>
内容	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・出席者の紹介 ・情報公開及び傍聴に関する報告 <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>羽島市水防団の体制見直しについて</p> <p>(事務局)</p> <p>羽島市水防団の体制見直しについて説明</p>	

(会 長)

①報酬の見直し、②連絡システムの導入について意見があればお願いします。

(委 員)

意見なし。

(会 長)

③巡視範囲の見直し、④組織体制の見直しについて事務局の説明に補足や意見等あれば説明をお願いします。

(委 員)

ここ数年で団員の確保に苦慮する分団が出てきており、人口減少等の問題から水防団の将来を見据え、体制を見直す時期に来ていると考えています。

各分団の巡視範囲について長良川、木曽川は大きな変更はないが、桑原川を担当する江吉良分団、上中分団については桑原川に異常がなければ他の分団へ応援に行くという体制とすることで水防団役員会にて承認を得ました。

また組織体制の見直しについて、各分団の定員 30 人というのは変えず、基本団員 25 人と大規模災害水防団員 5 人という体制へ移行していくということで水防団役員会にて承認を得ました。ただし、各分団で事情が違うため時間をかけて移行していくこととなりました。

[質疑応答]

(委 員)

大規模災害水防団員の普段の活動内容についてお聞かせください。

(委 員)

大規模災害水防団員の普段の活動内容として、基本団員と同じペースで訓練に参加するのは難しいかもしれないが基本的な技術の習得について一緒にやっていくつもりです。

(会 長)

演習だけでなく各分団の訓練や倉庫の点検等にも大規模災害水防団員を招集するような体制とすることでよろしいですか。

(委 員)

はい。

(委 員)

消防団と水防団の連携についてお聞かせください。

(委 員)

指揮系統が違っており、現状は連携が取れていません。

(委 員)

大規模災害が発生した際に連携が取れるような体制としていきたいため、今後消防団と水防団の幹部同士で意見交換等を行っていきたく考えています。

[意 見]

(委 員)

消防団についてもサラリーマン団員の増加や団員の高齢化が進んでおり、体制の見直しを行っているところです。

(委 員)

高齢化が進んでいる中でも若い団員を確保していくことが大事だと思います。

(委 員)

他市でも団員確保に苦慮しているため、体制の見直しは必要だと思います。また、河川管理者として水防団の存在は大変ありがたく感じています。

(委 員)

警察は水害だけでなく災害全体に関わっていくため住民の方々を守るためにも関係機関と情報共有を行いながら対策をしていきたいと考えています。

(委 員)

市内の各自治会でも自主防災組織を作っているが、自治会全体が高齢化している。高齢者の一人暮らしも増えてきているため、災害時にはそちらも気にしてほしい。

(委 員)

防災研究会としてもいつ災害が起きてもいいように心積もりしています。

[審 議]

(会 長)

羽島市水防団の体制見直しについて事務局の説明のとおりで承認いただけますでしょうか。

(委 員)

異議なし。

4 閉 会

